

経営体の概要

- ・所在地:宮城県東松島市
- ・経営体名:(有)アグリードなるせ
- ・作付面積:水稲40ha, 大豆51ha, 大・小麦30ha, 野菜類等6ha 延べ127ha・639筆
- ・従業員数:主従事者9名 , 臨時 延べ 4人/日

導入技術

- ・KSAS(圃場管理システム(株)クボタ)
- ・水田センサ(Paddy Watch | ベジタリア(株))
- ・WEBカメラ((株)ジョイ・ワールド・パシフィック)
- ・食味・収量コンバイン((株)クボタ)実証
- ・RTK-GNSSガイダンス((株)ニコン・トリンプル)実証
- ・ドローン生育診断((株)ファームアイ)実証



導入経緯

- 管理ほ場数の増加と分散により、帳票等による作業管理や栽培履歴管理に限界を感じ、効率的な管理に向けて、ほ場管理システムを導入。また、遠隔地ほ場や水管理における見回り回数削減のためにWEBカメラや水田センサを導入。

取組の特徴・効果

- 全ほ場をシステムに登録し、各ほ場の転作状況や作業履歴、農薬等の使用履歴を記録し、作業の効率化の検討や農薬等の適正使用管理に活用。
- システムで収量・品質等を管理・把握し、ほ場に応じた肥培管理を検討し、生産物の品質向上や収量の安定化を図り、有利販売に活用。
- WEBカメラによる遠隔地のほ場状況の把握や水田センサにより、ほ場見回り回数を削減(12回→6回)。直播ほ場における出芽後の入水や除草剤散布時の水管理に活用し、苗立向上、除草効果の安定化を実現。
- 今後、ASIAGAP 認証の取得を目指すとともに経営体内でデータ等を共有し、振り返り等に活用。
- また、実証で活用した食味・収量コンバインや RTK-GNSS 自動操舵トラクタ等の導入を検討中であり、更なる高品質安定生産と省力化を目指す。



食味・収量コンバイン



生育診断用ドローン